

利府町社会福祉協議会 児童デイサービスセンター「すきっぷ」 放課後等デイサービス自己評価表

(令和4年度の評価)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	4	1	・限られたスペースの有効活用や屋外での活動を行っている
	2	職員の配置数は適切である	4	4		
	3	生活空間はバリアフリー化の配慮がなされ、清潔でウイルス対策もされて、心地よく過ごせる環境になっている	5	2	1	・バリアフリーとなっていない箇所については職員の介助を行っている
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	4		
	5	保護者等向け評価表を活用するなど、アンケート調査を実施して保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげている	6	2		
	6	この自己評価の結果を、「りふ社協だより」やホームページ等で公開している	6	2		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	4	・外部評価は行っていないが保護者や他事業所との情報交換等で改善を図っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2		
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	7	1		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4		
	11	個別支援計画に沿った支援(サービスの提供)が行われている	6	2		
	12	活動プログラム(集団活動予定表)の立案をチームで行っている	5	3		
	13	活動プログラム(集団活動予定表)が固定化しないように工夫をしている	8			
	14	平日、休業日、長期休暇(臨時休校含む)に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と、集団活動を適宜組み合わせ、計画(集団活動予定表)を作成している	7	1		
	16	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		
	17	支援終了後に職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	4	4		
	18	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検討・改善につなげている	7	1		
	19	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1		
20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	3			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	1	・児童発達支援管理責任者を中心に積極的に参加をしている
	22	学校との情報共有、連絡調整を適切に行なっている	6	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、情報共有と相互理解に努めている	4	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供をしている	4	4		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	1	・必要に応じて連携を図っている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会がある		5	3	・近隣の公園では一緒に遊ぶ機会も多い
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	4	・法人として別事業所が参加。そこから情報交換等を図っている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっている	6	2		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	6	1	・個別相談にてアドバイスをしている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する際に、保護者同士の連携を支援している		1	7	・現在保護者会は設けていないが必要に応じて設置していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった際、迅速かつ適切に対応している	7	1		
	34	定期的「りふ社協だより」等を通じ、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2		
	35	個人情報の管理に十分注意している	8			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている		6	2	・行事開催はないが見学や実習等には積極的に応じている	
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症(新型コロナ等)対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している	7	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出、その他必要な訓練を行っている	7	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		
	41	どのような場合やむを得ず身体拘束を行うか、組織的に決定し、子どもや保護者へ事前に十分に説明し、了解を得て個別支援計画に記載している	7	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	2	・指示書のない場合保護者から詳しく確認している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有をしている	7	1		